

西部メディカルセンター に運営費の寄付

10月30日、ハムリー株式会社（古河市、鈴木正一代表取締役社長）様から、常陽銀行が発行する寄贈サービス付き私募債「医療機関応援債」の手数料の一部を活用し、西部メディカルセンターへ運営費の寄付をいただきました。これは、新型コロナウイルス感染症と最前線で戦う医療従事者を応援する気持ちから実現したものです。



（独）西部医療機構水谷太郎理事長に目録を渡す鈴木照雄会長（左から3人目）

西部メディカルセンター で防災訓練を実施

11月1日、災害拠点病院である西部メディカルセンターで、コロナ禍における災害活



トリアージ訓練



感染防止対策をした被災傷病者受入れ訓練

動の円滑化と協力体制を強化するための防災訓練が行われました。訓練には、真壁医師会、筑西保健所、筑西市、筑西広域消防本部、西部メディカルセンターから約110人が参加。災害対策本部の設置や被災傷病者受入れ方法、トリアージなどの訓練を行い、職員や関係者の防災意識の高揚を図りました。

円滑な避難所運営のための 訓練を実施

10月15日・16日、下館庁舎で、感染症と自然災害などによる複合災害に備え、市職員が円滑な避難所運営を行えるよう、感染症の予防・拡大防止対策についての講習会を開催しました。

講習は、西部メディカルセンターから感染管理認定看護師を招き、衛生環境を保つポイントや防護服の着脱手順などを確認しました。



防護服の着脱方法を確認

市内小学校で 防災訓練を実施

震度6強の直下型地震を想定した防災訓練を、嘉田生崎小学校、村田小学校で実施しました。10月20日の村田小学

校の訓練では、筑西消防署の協力のもと、児童たちが消火器での初期消火訓練や煙体験したほか、県の防災ヘリコプター「つくば」による救助訓練を見学し、防災意識を高めました。



訓練用水消火器による初期消火訓練

宝くじの社会貢献広報助成 事業で備品を整備

一般コミュニティ助成事業を活用し、自治会活動の拠点となる新田集落研修センター（玉戸）にエアコン、テレビ、物置などが整備されました。

この助成事業は（一財）自治総合センターが、宝くじの社会貢献広報としてコミュニティ活動に必要な備品の整備に助成を行い、地域社会の健全な発展と、住民福祉の向上

を図っているものです。



助成により整備された屋外物置

下館駅と真岡駅で 子鉄ランチをPR

10月31日、真岡鐵道のSL運行日に合わせて、下館駅と真岡駅で筑西市の子鉄ランチのPR活動や観光案内を行いました。ちっくんと真岡市のイメージキャラクター「ももかびよん」が共演し、子どもたちに大人気でした。



ちっくんたちがSLをお出迎え